

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
小学校	国語	4	7

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書	<p>○各単元の教材文の前の導入ページに「言葉の力」の目標を具体的に示している。</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項「言葉の広場」では、たくさんの言葉を示している。たとえば「人物の行動」(61語)、「人物の気持ち」(54語)、「人物のせいかく」(52語)の3項目に分けて示している。(第4学年)</p> <p>○漢字辞典についての説</p>	<p>○学習の見通し「①議題をきめる。②話し合いの計画を立てる。③グループで話し合う。(意図を明確にしながらか計画的に話し合う。)」を示している。(第6学年)</p> <p>○学習の進め方として「友だちとつたえあおう」では、「・豆太のせいかくを想ぞうしよう。・豆太について想ぞうしたことを友だちとつたえ合おう。・豆太について友だちとつたえ合い、どんなことを感じましたか。」を示している。</p>	<p>○第1～4学年は、上下巻の2冊構成、第5・6学年は1冊である。</p> <p>○第2学年以上の各巻に「国語の学習の進め方」「○年で学習する言葉の力」を設けてあり、年間と通じて「何を、どのように学ぶか」が見通せる。</p> <p>○各領域の単元「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の課題解決的な3ステップで組織してある。</p>	<p>○文章と図表との関連については、「書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう」(第5学年)において、「新聞の紙面『記事の構成』・『写真『アップ』『ロング』・『A社の記事』『B社の記事』」が示されている。</p> <p>○学習の進め方では、「つかむ」「取り組む」「振り返る」という学習過程を示している。</p> <p>○つきたい力・学習することを・「話す・聞く」「書く」</p>	<p>○第3学年「グループでの話し合い」第4学年「グループの提案をもとにクラス全体で話し合い」第5学年「グループでの話し合い」第6学年「グループでの話し合い」が示されている。</p> <p>○図書館での約束、本の仲間分け、司書の先生、百科事典や図鑑などの調べ方、NDCの仕組みと活用の仕方、百科事典の調べ方、引用の仕方、請求記号、地域の図書館や資料館、科学館などの活用の仕方が示され</p>

	<p>明（漢字の読み方，成り立ち，意味など）を述べ，二人の人物の吹き出しで，漢字辞典で読み方を調べることができるという会話を示している。（第3学年）</p>	<p>（第3学年 モチモチの木）</p> <p>○「みんなで新聞を作ろう」（第4学年）では，資料として「出来上がり新聞の例・記事の下書きの例」「新聞のわりつけの例」「グループ活動のイメージイラスト」「『言葉の力』[付録] 新聞の割付」が示してある。</p>	<p>○年間総単元数 第1学年：6単元 第2～6学年：10単元</p> <p>○伝統と文化に関する内容の記述は，第1・2学年：9単元 第3・4学年：8単元 第5・6学年：13単元である。</p>	<p>「読む」の3領域に分け，各単元で身につける言葉の力を一覧で示している。合わせて1年間で頑張りたいことやできるようになりたいことを掲載している。</p> <p>○巻末に○年（前学年）で学習した言葉の力「話す・聞く」「書く」「読む」の3項目で示している。</p>	<p>ている。</p>
11 学図	<p>○各単元の冒頭に目標を示し，的のイラストとともに学習目標を示している。</p> <p>○「言葉のへや」を各学年巻末資料として掲載している。行動を表す言葉として，話す（17語），聞く（6語），書く（5語），見る（5語），思う（3語）などの項目に分けて示している。また，「読むこと」教材では，理解語彙を脚</p>	<p>○学習の見通し，「①討論の進め方を確かめよう ②論題と役割を決めよう ③立論を考えよう ④立論を発表しよう ⑤討論会をしよう ⑥ふり返ろう」を示している。（第5学年）</p> <p>○つきたい力と学び方をつかませるために，育てたい「知識及び技能」の指導事項を上段に，教材一覧を下段に示している。</p>	<p>○第1学年から第6学年まで上下巻の2冊構成である。</p> <p>○説明文教材の後に「書くこと」の教材を設定している。</p> <p>○第6学年には「読むこと」と「書くこと」「書くこと」と「話すこと・聞くこと」の領域を関連させた複合単元が設定されている。</p>	<p>○「国語の学習の進め方を確かめよう」と提示し，「つかむ」，「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」という学習過程を示している。</p> <p>○「つきたい力・学習すること」「○学年でつきたい力」（折込ページ）として，「知識及び技能」を3項目に分けて指導事項を示し，下に単元名を示している。「話す・聞く」「書く」「読</p>	<p>○第3学年「やくわりを決めて話し合おう」では，クラス全体での話し合いの仕方が示されている。</p> <p>○第4学年「問題解決のために話し合おう」では，「グループで作成した安全マップをもとに，クラス全体で話し合う」第5学年「討論会」第6学年「パネルディスカッション」を示している。</p>

<p>注欄に示している。</p> <p>○「漢字辞典の使い方」として、漢字辞典のつくりを示し、「約」の部首、画数、読み方、成り立ち、意味などを調べるように提示している。</p>	<p>○「読むこと」では、見開き構成で学習内容を見渡せるようにしており、「めあてを確認する」「学習に取り組む」「学習を振り返る」という学習過程を示している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、モデルとなる文章例を多く提示し学習の完成形を視覚的にイメージできるようにしている。</p> <p>○自分の言葉で学習をまとめ自己評価をするように視点を示している。</p>	<p>○年間総単元数 第1・2学年：10～14 単元 第3・4学年：11～12 単元 第5・6学年：10～11 単元</p> <p>○伝統的な言語文化に関する単元数・単元名・取り上げられている作品 等 ☆（ダウンロード資料）10 ページ</p>	<p>「む」の領域指導事項と単元名を示している。</p> <p>○「学びに向かう力、人間性等」の目標を示している。</p>	<p>○学校図書館等の利活用の仕方として、図書室の利用、約束、本の見つけ方、百科事典の調べ方、インターネットなどについて、各学年で使用する本の種類を変えて使用できるように工夫されている。</p>
--	--	--	---	---

<p>17 教出</p>	<p>○巻頭の「○年生で学ぶこと」のページに各単元の目標を示している。</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項「言葉の木」では、行動を表す言葉として、「くらす」(7語)、「動く」(8語)「かかわる」(7語)、「つたえ合う」(8語)の4項目に分けて示している。(第3学年)</p> <p>○情報の扱い方に関する事項「漢字辞典の使い方」では、国語辞典で調べられない漢字辞典では調べられること、漢字辞典では音訓の読み方や成り立ち、その漢字を用いた様々な言葉が調べられることを示している。(第3学年)</p> <p>○情報の扱い方に関する事項として「漢字辞典の使い方」(第1～6学年に掲</p>	<p>○学習の進め方として①テーマを決めて、調べる。②話し合いの準備をする。③「ミニディベート」を行う。④感想を交流する。」(第5学年)を示している。</p> <p>○学習のすすめ方として、「おすすめ図書カードを作ろう」では、「主な登場人物を確かめる・豆太の気持ちの変化や場面ごとに豆太について話し合う・豆太の変化について話し合う・おもしろいところを紹介し合う。」を示している。(第3学年「モチモチの木」)</p> <p>○「新聞を作ろう」(4年生)では、目的「写真や図表を効果的に使って、わかりやすい新聞を作る」を示し、資料として「新聞とは何か」「割付用紙」「話し合い活動のイメージイラスト」「出来上がり新聞の例」「ここが大切」が示</p>	<p>○単元や資料等の配列としては、上下巻の2冊構成である。</p> <p>○1つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。</p> <p>○年間総単元数 第1学年：7単元 第2学年：15単元 第3学年：13単元 第4学年：14単元 第5・6学年：10単元</p> <p>○伝統と文化に関する内容の記述としては、第1・2学年：9単元 第3・4学年：9単元 第5・6学年：14単元ある。</p>	<p>○「世界遺産 白神山地からの提言一意見文を書こう」(第5学年)では、「2つの説明文と7つの資料を読んで、自分の意見を根拠となる資料に基づいて書く」ことが示されている。具体的には、(①写真②地図③入山届出書の例④新聞記事⑤棒グラフ)を考えさせる記述がある。(1)できるだけたくさんの資料を比べて自分の考えの根拠をはっきりさせよう。(2)複数の資料を比べながら読み、自分の考えをまとめたり、伝えたりするために資料を活用することができたか。</p> <p>○巻頭の示し方では、○年生で学ぶこと「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域に分け、「単元名」「めあて」「ここが大事」を示し、学習順に道で繋ぎ、地図とし</p>	<p>○第3学年「グループでの話し合い」第4学年「クラス全体での話し合い」第5学年「ミニディベート」第6学年「パネルディスカッション」が示されている。</p> <p>○学校図書館機能の活用(第1～4学年に記載)としては、図書館の利用、図書館マップによる本の分類、本の探し方、目次や索引の使い方、前書き・後書き、奥付「読書カード」の書き方・本の分類(日本十進分類法と分類記号、本のラベルの見方)を示している。</p>
------------------	---	---	--	---	---

	<p>載)では、2人の人物と鳥の吹き出しで、国語辞典では調べられないことが漢字辞典で調べられることや漢字を用いた様々な言葉が調べられることを示している。</p>	<p>してある。</p>		<p>て示している。巻頭ではないが、「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには、「見通しをもとう」から「振り返ろう」まで単元の学習過程を示している。</p> <p>○「話す・聞く」「書く」の単元の最初のページには、「見通しをもとう」から「ふり返ろう」までの単元の学習過程を示している。</p> <p>○「言語」「漢字の広場」「文化」「読書」ごとに、単元のつながりを示している。</p>	
--	--	--------------	--	--	--

<p>38 光村</p>	<p>○各単元の冒頭に具体的な目標を示している。</p> <p>○「言葉のたから箱」に、「考えや気持ちを伝える言葉」として「人物を表す言葉」(10語)、「事物を表す言葉」(10語)、「考え方を表す言葉」(6語)、「気持ちを表す言葉」(25語)の4項目に分けて示している。</p> <p>○「学習に用いる言葉」として、各学年の国語で使われる言葉を示している。</p> <p>○「漢字辞典の使い方」では、漢字辞典を使うと漢字の部首や画数、読み方成り立ち、意味などを知ることができるということを記述し、「約」の部首、画数、読み方、成り立ち、意味を漢字辞典を使って確かめさせる流れ</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、「対話的な学び」を重視し、活動の折々に吹き出しを用いて「対話」の姿を示している。</p> <p>○ページの上段に活動指示、下段に資料やメモの例など活動に役立つ情報を整理している。</p> <p>○学習の進め方を示し、「①学校生活の中から議題を決める。」「②自分の立場を明確にする。」「③話し合いの仕方を確かめ進行計画を立てる。」「計画に沿って、グループで話し合う」「話し合ったことをクラスで共有し感想を伝え合う。」という順に話し合い活動をさせるようにしている。</p> <p>○「読むこと」の単元では、作品・文章の導入と読みの着眼点を示し、学習の見通しを</p>	<p>○第1学年から4学年までは上下巻の2冊構成、第5・6学年は1冊である。</p> <p>○一つの領域に集中して学習する単元と、各領域の学習を組み合わせ、総合的に展開する単元を配列している。</p> <p>○教科書全体が「単元」「小単元」「コラム」「特設単元」で構成されている。</p> <p>○年間総単元数 第1学年：7単元 第2学年：9単元 第3・4学年：8単元 第5・6学年：7単元</p>	<p>○第5学年「資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして書こう」では、資料を用いた文章の効果を考え、それを生かして意見文を書く学習を設定している。地図・表、年表・図、図、写真、棒グラフ、折れ線グラフ等の7資料を提示している。それぞれの資料が文章のどの部分と対応し何が読み取れるか、どのような効果があるかを考えさせている。筆者の立場や読み手の立場から考えさせるように読み手の視点を与えている。</p> <p>○学習の進め方として、第2学年以上で「国語の学びを見渡そう」と提示し、「初めに」、「読む」「書く」「話す・聞く」「振り返る」、「学習や生活にいかす」という学習過程を示している。</p>	<p>○第3学年「班での話し合い」第4学年「クラス全体での話し合い」第5・6学年「グループでの話し合い後クラスで共有」が示されている。</p> <p>○学校図書館等の利活用の仕方については、第1学年で「としょかんへいこう」「としょかんとなかよし」、第2学年で「図書館たんけん」、第3学年「図書館たんていだん」「科学読み物での調べ方」、第4学年で「図書館の達人になろう」「百科事典での調べ方」、第5学年で「図書館を使いこなそう」、第6学年「地域の施設を活用しよう」が示されていて、図書館利用への意欲をもたせる単元名になっている。</p>
------------------	--	---	---	--	---

	<p>になっている。</p>	<p>示している。手引きの上段に単元の初めから終わりまで課題を一覧できるようにして、下段に課題に取り組むうえでの観点や思考の整理の仕方、学びの姿を示している。また、新しい評価の観点に沿って自己評価できるように「ふりかえろう」を設定している。</p>		<p>○「つきたい力・学習すること」では、第2学年以上で「□学年で学習すること」（折込ページ）として、話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに、教材名・身につきたい力（たいせつ）・学習用語を示している。</p> <p>○前学年の学習の振り返りでは、「□年生の学びを確かめよう」として、学習することの下に、「話す・聞く」「書く」「読む」の3領域ごとに学習過程に沿って示している。</p>	
--	----------------	--	--	---	--